

政府対応 冷静な検証を

参院予算委 小池議員が要求

人質事件

「このような悲劇が二度と起らぬようきちんと検証するのが国会の役割だ」。日本共産党の小池晃議員（副委員長）は3日の参院予算委員会で、過激組織「イスラム国」による日本人人質殺害事件での政府の対応をただしました。また、「介護崩壊を招く」として介護報酬引き下げ方針の撤回を強く要求しました。



質問する小池晃議員
=3日、参院予算委

2015.2.4付一部縮

小池氏は「2人の日本人が拘束された段階で、どれだけ危機感をもって政府が対応してきたのか」と指摘。中東訪問中に安倍晋三首相が2億ドルの支援を表明したエジプトでの演説（1月17日、別掲）で、「非軍事的人道支援」であることを強調し、これまでの政府の

小池氏は過激組織「イスラム国」による日本人人質殺害事件について、人質救出のさなかには、人命最優先の立場から政府の対応へ

2月8時
chubun
赤旗
日曜版
特集号
ぜひお読みください。
北の特集号も
問題もので付。

対応をただしました。この中で政府は、2人の日本人拘束を昨年の時点できつと把握していました。ながら、1月の動画公開までは現地対策本部の人的体制の強化を図ってこなかったことを明らかにしました。

安倍首相は「しっかりと中東でメッセージを出すこそ日本の責任だ。テロリストに過度な気配りをする必要はない」などと2人の安全への言及を避けたことと述べました。一方、岸田外相は、2人の殺害を警告する「イスラム国」の動画を確認した1月20日以降に対策本部を

強化したとしながら、それ以前については「本省や在外公館からの応援はなかつた」と答弁しました。

の立春を迎えたが…「春は君のみ」。なんということでしょう。人間の命が取り引きされ、結果的に4人の命が奪われました。

昨年、2人の日本人が拘束されたあとも、政府は救出のための体制強化もしていなかった

○3日、午前、参院予算委員会で、小池晃議員が政府の姿勢を察す中で、明らかになりました。右の記事をごらん下さい。→

介護報酬引き下げは、
「介護崩壊をもたらす、ただちに
撤回すべき」小池氏

○国民の声を代弁した
迫力の質問でした。NHK連鎖

・春を呼ぶつい
2月7日(土)午後1時半
桐中のテナント会場
ぜひお掛け
ください。



2015/01/31



日本共産党北区議会議員
さがらとしこ
区政レポート

日本共産党議員団
2015.2.5.NO.1289.
ご相談はお気軽に
TEL とも 3905-0970
FAX

さがらとしこ事務所
赤羽北3-23-17
(バス停「赤羽北3丁目」、メガシティ近く)



介護報酬引き下げ撤回せよ

小池氏「職員の待遇改善に逆行」

「介護崩壊」をもたらす愚かな政策は直ちに撤回せよ。小池氏は、介護報酬の引き下げを正当化する感の拍手がたびたびあがり

安倍内閣のごまかしを厳しく批判しました。

政府は、介護報酬を下げても待遇改善加算を充実す

るから介護職員の賃上げが

できる」と説明しています。

しかし、介護報酬は待遇加算を含んでおり、マ

イナスです。小池氏は、介護報酬引き下げのしわ寄せ

が職員に及ぶ危険を具体的にあげて、「一対改善に逆行する」と迫りました。

塙崎恭久厚労相は「約束通り(賃上げ)をやっているかチェックしていく」としか答えられませんでした。

小池氏は、政府が介護施設の収支差率(利益率)が良好だから介護報酬削減に

も耐えうるなんだと説明していなかった。「事態の深刻さがわからっていない」と批判。収支差率は調査によってもばらばらで、自民党議員すら「社会福祉法人は儲かりすぎだとペナルティをかけた」と指摘していることを示し、政府の認識をただしました。

安倍晋三首相は「制度の持続可能性が大事だ」などと強弁。小池氏は、安倍政権が介護報酬削減をはじめとして社会保障自然増削減を行っていることに、「医療崩壊」を打ち出していることにいて、「医療崩壊」を招いた小泉政権の「構造改革」の教訓に学ばない「破滅の道だ」と批判しました。

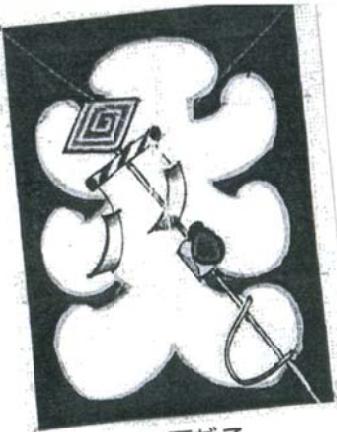


計画が中止になった「(仮称)しょうじゅ豊島」建設予定地 = 豊島6丁目

3日朝、NHK「おはよう日本」でも、北区の建設が予定されていた特養ホームが突然建設中止となった問題がとりあげられました。

● NHKの調査では、この3年間に建設ができなかった施設があると回答した自治体は半数以上に。背景に深刻な人手不足があると…。

くらし・環境・文化遺産をまもる 住民の会発足



江戸だこ

風作り教室と風揚げ大会
2月15日(日)に参加ませんか。
参加申込み TEL 3909-6591「住民の会」

● 都は2020年までに、北区内3路線4カ所で、幅員20mの特定整備路線を整備するとしています。

しかし、多くの住民を立ち退かせ、住環境、自然環境の破壊につながる計画に、地元住民からは強い反対の声があがっています。

● 2月1日、西が丘ふれあい館での発足式は、赤羽西地域の補助86号線の住民の方々を中心になって準備をすすめてきました。

● それはじめ都議が道路計画をめぐる情勢について報告し、事業の中止を求める運動への連帯を表明。活発な討議を経て、役員体制の提案などが了承されました。